



# 校長通信

令和3年度20号 令和3年12月24日

和歌山市立河北中学校 校長 戸川定昭

## 《2学期無事終了！》

1年で一番長い学期、2学期を本日無事終了することができました。思い起こせば、新型コロナウイルス感染症が拡大し、その影響でスタートが1週間遅れたり、紀ノ川にかかる水道橋の崩落による断水で、学校を臨時休業せざるをえなくなったり、オンラインの授業を実施したり等、思わぬ出来事が起こった学期でした。保護者の皆様も、たいへんご苦勞されたことと思います。しかしながら、子供たちは、落ち着いて学習し、体育大会、文化祭、修学旅行、校外学習等の行事もたいへん前向きに取り組んでくれました。これもひとえに保護者の皆様のご協力の賜物と考えています。ありがとうございました。



さて、明日から冬休みです。冬休みの過ごし方については、教育委員会からの文書や、保健だより等でお知らせしているので、ここではあまり深く述べませんが、家族の温かい絆が、より一層深まる年末・年始をお過ごしくださるよう願っています。来年も、どうかよろしくお願ひします。

## 《わかやま農業教育一貫プロジェクト》

和歌山県は、果樹王国と言われ、みかん、梅、柿の生産高は日本一です。しかしながら、農業従業者の高齢化や、後継者不足が問題となっています。このような状況の中、県教育委員会は、令和4年度から、「わかやま農業教育一貫プロジェクト」をスタートさせるそうです。そのプロジェクトに先立ち、今年度から県内2校の農業系高校で、全国・県内の受験生を対象とした農業科特別選抜をスタートさせました。県内の農業系高校と農林大学校と連携した5年一貫教育や、うめ・かき・もも・みかんの栽培等を通して、高度な農業の知識・技能を習得した地域を支える人材育成を目指すそうです。

私も、全国から集う若者と和歌山の若者が共に切磋琢磨して、高度な農業技術を身につけ、和歌山の農業の更なる発展を目指す、すばらしいプロジェクトになってほしいと期待しています。3年生は、もうすでに進路希望を決定している生徒が多いと思いますが、1・2年生の中で、興味のある人は、進路選択の一つとして考えてみてはいかがでしょうか。

